

# ボナンタゴン

アピカホールから  
あなたに

Vol.78

2015.10月-12月



プラハ・バロック合奏団の皆さん

第131回  
「ほろろ」コンサート  
プラハ・バロック合奏団

十二月十一日開催

コンサートの  
ご案内

うかわ先生の  
おんがく談義

音楽の話輪和Wa

蜘蛛の糸の

バイオリン

西脇市立音楽ホール

**Apika**  
アピカホール

12月11日(金)

第131回しばざくらコンサート

プラハ・バロック合奏団

The Prague Baroque Ensemble

“きよしこの夜～クリスマス名曲の贈り物”

チェコ共和国の首都プラハは“世界で最も美しい街”に数えられ、訪れる人々を魅了してやみません。街の中心部を流れるヴルタヴァ川(独語名:モルダウ川)をはさみ、数多くの歴史的建造物が残る「歴史地区」は、1992年にユネスコの世界遺産に登録されています。

アカデミー賞8部門を受賞した映画「アマデウス」では、モーツァルト自ら歌劇「ドン・ジョヴァンニ」を指揮・初演し大喝采を浴びた由緒あるスタヴォフスケ劇場など、戦火を免れ当時の面影を今に遺す古都の美しい街並みを使って撮影されました。

そのモーツァルト(アマデウス)が愛した街プラハは“音楽の都”としても知られ、ドヴォルザーク、スメタナ、ヤナーチェクなどが活躍しました。

1946年から毎年春に行われている「プラハの春音楽祭」は、この街を本拠地とする名門チェコ・フィルハーモニー管弦楽団を中心に、世界中から著名な演奏家やオーケストラが招かれて華々しく開催されています。

「プラハ・バロック合奏団」はチェコ・フィルハーモニー管弦楽団をはじめとするチェコの代表的オーケストラのメンバーが集まり1982年に結成されました。

初来日は2001年12月。2004年からは毎年クリスマス・シーズンに合わせて来日公演を重ね、“きよしこの夜～クリスマス名曲の贈り物”と題した東京カテドラル聖マリア大聖堂での演奏会は、大好評で毎年満員のお客様をお迎えしています。

ヨーロッパの冬に欠かせないイベントと言えば各都市の広場に臨時に設営されるクリスマス・マーケット。クリスマス前のプラハの旧市街広場も、優しい光に包まれた美しい店が立ち並ぶ光景はおとぎの国に迷い込んだかのようなようです。

ショッピング街の派手なイルミネーションとクリスマス・ポップス音楽の喧騒から離れ、人々は温かいホットワインを片手にマーケットをゆっくりと散策して楽しめます。

今回の公演では、そんな優雅で厳かなプラハのクリスマスの雰囲気そのまま味わって頂くかのような選りすぐりのプログラムをお楽しみ頂きます。

演奏会の前半では、パッヘルベル:カノン、バッハ:G線上のアリア、ヘンデル:オンブラ・マイ・フ等々のバロック時代を代表する作曲家たちの名作の数々を中心に、後半では讃美歌やクリスマス・キャロルの有名作品などを揃え、クリスマス・シーズンに聴きたい名曲が盛りだくさんです。

また、今回はアピカ児童合唱団の皆様が特別出演、“もみの木”“きよしこの夜”“もろびとこぞりて”の3曲で共演します。

弦楽合奏とチェンバロの繊細な響き、オーボエとファゴットのまろやかな音色、そしてあたかも教会の聖歌隊のような合唱団の歌声が溶け合い、荘厳で親密なムードが会場いっぱいに広がることでしょう。

この機会に、ロマンチックなヨーロッパのクリスマスの雰囲気をぜひ味わってみて下さい。(招聘:メロス・アーツ・マネジメント)

今年のアピカでクリスマス

2015年12月11日(金) 19:00開演(18:30開場)



第131回しばざくらコンサート「プラハ・バロック合奏団」

Program	
パッヘルベル	: カノン
ヴィヴァルディ	: 「四季」より“冬” 第2楽章 ラルゴ
マルチェッロ	: オーボエ協奏曲 二短調 より 第2楽章 アダージョ
バッハ	: G線上のアリア
アルビノーニ	: オーボエ協奏曲 二短調 Op.9-2 より 第2楽章 アダージョ
パーセル	: 「アプデラザール」組曲より ロンドー
ヘンデル	: ハープシコード協奏曲 変ロ長調 Op.46 より 第1楽章
ヘンデル	: オンブラ・マイ・フ
ヘンデル	: オラトリオ「ソロモン」より “シバの女王の入城”
バッハ/グノー	: アヴェ=マリア
バッハ	: 主よ、人の望みの喜びよ
ヘンデル	: ひとりのみどり児生まれたり
バッハ	: 甘き喜びのうちに
クリスマス名曲集	: もみの木 ★
	: きよしこの夜 ★
	: もろびとこぞりて ★
	: 神の御子は今宵しも
	: 荒野の果てに
	: オ・ホーリー・ナイト (聖夜)
ヘンデル	: ハレルヤ

(★アピカ児童合唱団共演)

## しばざくらコンサートのご案内



12月11日（金）19時開演（18：30開場）

第131回しばざくらコンサート

きよしこの夜～クリスマス名曲の贈り物

**「プラハ・バロック合奏団」**

一般 3,500円 高校生以下 1,500円

※全席自由席

※未就学児の入場はご遠慮ください。



2月7日（日）14時開演  
（13：30開場）

第132回しばざくらコンサート

**「京フィルとあそぼう！」**

0歳からのクラシックコンサート

一般 1,500円 中学生以下 500円

※全席自由席

※0歳より入場可能（3歳以下ひざ上鑑賞に限り無料）

## コンサートのご案内

### 第18回「アピカ・アンサンブルコンサート」

と き 12月19日（土）（予定） 時間 未定

入場料 無料

市内の中学・高校の吹奏楽部・音楽部とアピカ弦楽アンサンブル教室・一般団体によるアンサンブルコンサートです。

### 「アピカ児童合唱・混声Còroアピカ 4thコンサート」

と き 2月28日（日） 時間 未定

入場料 未定

平成24年6月に設置しましたアピカ児童合唱団と混声Còroアピカは、ライツ室内管弦楽団付きソリストとして活躍されている百合花先生の指導を受け4年目を迎えました。

早春のひとつ、アピカホールの児童合唱団、混声Còroアピカがお送りします名曲の数々を是非、お楽しみください。

アピカ弦楽アンサンブル教室

### 「第4回Apika Junior Stringsコンサート」

と き 3月27日（日） 時間 未定

入場料 無料

平成24年6月に設置しましたアピカ弦楽アンサンブル教室は、元大阪フィルハーモニー交響楽団コンサートマスターの藤井允人先生と地元西脇市の西山枝里先生と西脇市出身の久保ふみ先生の指導を受け、4年目を迎えました。

楽譜を読み、作曲家の意図を理解し、自ら音楽として表現し、みんなで合奏を楽しむコンサートです。

弦楽アンサンブル教室生「アピカ・ジュニア・ストリングス」の子どもたちならではの音楽を是非、アピカホールでお楽しみください。



## 西洋音楽に与えたフリーメイソンの影響(第1回)

我が国では、年末に、ベートーヴェンの「第9」の演奏をすることが、恒例の行事となっています。日本各地で、プロ・アマを問わず数えきれないほどの演奏会が開かれ、善男善女が大きな口を開けて、シラーの詩による「歓喜の歌」を熱唱するという光景がいたるところで見られます。

ところで、日本でこれほど人気のある「第9」ですが、カトリックの総本山であるヴァチカンでは演奏禁止になっていることはご存知だったでしょうか？

えっ、ウソーとかどうしてーといった声があちらこちらから聞こえてきそうですね。この措置について何ら疑問に思わなかったり、さもありませんと納得された方は、西洋の文化・歴史・宗教に相当通じている方だといえるでしょう。

ヴァチカンは「第9」の一体どこが気に食わないのか。

それは、シラーの詩「歓喜の歌」の内容にあります。

私たち日本人は、宗教的な事柄にとっても疎いため(身近な例を一つ挙げましょう。初詣で大勢の人が参拝する京都の伏見稲荷大社。入ってすぐのところにある立て看板に「この神社は秦伊呂具によって創建された」と書いてあるのです。日本固有の宗教である神道の建物を渡来人の秦氏が造ったというはおかしなことですね。しかし、それをなんとも思わないの

が我々日本人なのです)、「歓喜の歌」の詩も、キリスト教に由来した内容であると多くの人が思い込んでいるのではないのでしょうか。

ところが、あにはからんや、この詩の内容は、キリスト教とは全く関係がないのです。それどころか、キリスト教にとっては憎っくき敵、歴代のローマ法王が「破門令」をもって禁止していた(1983年になってようやく解除されました)団体の思想を表明しているのです。

その団体とは何か。

それは、フリーメイソンという団体です。

フリーメイソンは、世界で最も古く、最も大きな国際的秘密結社です。

近代的なフリーメイソンは、1717年にロンドンで発足したとされています。前身については諸説紛々いろいろあるのですが、フリーメイソンのフリーは「自由な」、メイソンは「石工」という意味なので、中世に自由に各地を歩き回って教会を建築していた石工たちの職業組合にあるのではないかというのが有力な説の一つです。

フリーメイソンでは、入会するときに儀式があったり、入会してからいろいろな教えを受けるのですが、それらは外部に口外してはならないことになっているため、秘密結社扱いになっています。

フリーメイソンで教えられていたこと、それはキリスト教の教義に全く反する異端の教

えでした。そのため、ローマ法王は、キリスト教徒でありながらフリーメイソンに入った者は破門するという決定を下したのです。

フリーメイソンで教えられていたこと、それは、キリスト教では認めていない「靈魂不滅」、「輪廻転生」という教えでした。フリーメイソンの会員であったドイツの文豪ゲーテは、「靈魂不滅」、「輪廻転生」を水に例えて次のように歌っています。

Gesang der Geister über den Wassern 「水上の霊たちの歌」の第1節

Des Menschen Seele	人の魂は
Gleicht dem Wasser :	水のごとく、
Vom Himmel Kommt es,	天より降りて、
Zum Himmel Steigt es,	天にかえる。
Und wieder nieder	そして再び
Zur Erde mu ß es,	地に降り、
Ewig wechselnd.	流転とどまることなし。

(石井 宏 訳)

大音楽家でフリーメイソンに入っていたことがハッキリしているのは、次のような人たちです。

ハイドン (1732-1809)

モーツァルト (1756-1791)

リスト (1811-1886)

シベリウス (1865-1957)

入っていた記録は残っていないけれども、入っていた可能性が濃厚なのは、次のような

人たちです。

ベートーヴェン (1770-1827)

シューベルト (1797-1828)

メンデルスゾーン (1809-1847)

ブラームス (1833-1897)

プッチーニ (1858-1924)

これらの名前を眺めていると、古典派・ロマン派の主だった大音楽家たちがひしめきあっているのが分かります。

西洋の音楽を理解するためには、キリスト教の知識が不可欠だということはよく言われることです。確かにそうであるに違いはないのですが、実際には、それだけでは不十分で、もう一つの大きな流れ、フリーメイソンの知識も不可欠だということがお分かりいただけただのではないのでしょうか。

### 参考文献

吉田 進『フリーメイソンと大音楽家たち』  
国書刊行会

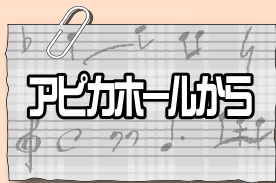
吉村正和『フリーメイソン』  
講談社(現代新書)

茅田俊一『フリーメイソンとモーツァルト』  
講談社(現代新書)

湯浅慎一『フリーメイソンリー』  
中央公論社(中公新書)

ネットウル(海老沢 敏、栗原雪代 共訳)  
『モーツァルトとフリーメイソン結社』  
音楽之友社

元同志社大学文学部講師(音楽学) 鵜川 真



第19回

# 「リトルピアニストの大っきなコンサート」

8月22日(土) アピカホール

19回目の「リトルピアニストの大っきなコンサート」、今年も59組62名のピアニストたちがスタインウェイピアノで見事な演奏を披露しました。幼稚園児から高校生まで一人ひとりの演奏に会場から大きな拍手が鳴り響きました。舞台に出て一礼した緊張の顔から演奏を終え笑顔に戻る時、たとえ短い時間でも舞台に立つ経験は子ども達の成長の大きな糧となるでしょう。

また自分のピアノを聞いて頂き、他の人の演奏に耳を傾ける、このことは演奏を聞くマナーを身につける良い機会でもありました。

アピカホールの合い言葉「聞く人と奏でる人が“音楽”をつくりあげるコンサートホール」まさにそのものであり、夏の素晴らしい一日でした。



午前の部



午後の部

総合建設業 一級建築士事務所  
国土交通大臣認定鋼構造物製作工場  
あんしん住宅瑕疵保険届出事業者



WAIKI CONSTRUCTION CO.,LTD.



☎677-0018 西脇市富田町36  
電話 0795-22-5651(代)

今までなかった。  
DISTYLEのカジュアルオーダーメイド。  
あなた仕様のキッチンと収納家具でお部屋を  
デコレーション。

D-STYLE Kitchen&Furniture

株式会社 藤田幸三商店 神戸市東灘区向洋町中6-9 4F  
TEL:078-857-8424 FAX:078-857-8425

# 「第44回 西脇市子ども芸術祭 子どもステージ」

8月23日(日) 西脇市民会館(アピカ児童合唱団とアピカ・ジュニア・ストリングスが出演)

「ヤー」一瞬の静かさを破ってアピカ児童合唱団の9名が舞台に走って登場。同時に元気よく足踏みしながら「ビューティフル・ネーム」の大きな歌声が市民会館のホールいっぱい響き渡りました。観客は静から動へ引き込まれ、合唱のもつエネルギーに触れました。

大きな舞台に9名の合唱団、少人数ですがそれを感じさせない元気で大きな歌声に会場からは惜しみない拍手が送られました。

この合唱団は現在、市内で唯一の児童合唱団です。基礎・基本を3年間という短い間で身につけた成果が十分出せた舞台でした。何よりもみんなで歌う楽しみや喜びを大切にしているアピカ児童合唱団、これからも大きく育っていくことでしょう。

続いてアピカホール弦楽アンサンブル教室・愛称「アピカ・ジュニア・ストリングス」の登場です。ヴァイオリンを演奏する7名の小学校4年生から高校生に会場は興味津々。最初の曲、モーツァルトの「6つのレントラー風舞曲K.606」が終わると大きな拍手が市民会館のホールいっぱい響きました。

演奏する楽しみや7人が奏でる音の一つになり会場を潤しました。音楽のエネルギーが会場を包み、会場の和やかさが深まってきました。

「アピカ・ジュニア・ストリングス」の存在が大きく大きく見えた一時でした。来年の3月、4回目のコンサートではさらに素晴らしい演奏が聞けることでしょう。



アピカ児童合唱団



アピカ・ジュニア・ストリングス

# 8月27日(木) ヴァイオリン ワークショップ

弦楽アンサンブル教室の一環として今年も初心者対象の「ヴァイオリンワークショップ」が開催されました。

指導はアピカホールの「弦楽アンサンブル教室」を指導いただいている素晴らしいプロの藤井充人先生、西山枝里先生、久保ふみ先生に教えていただきました。

最初は緊張していた小学生8人、生まれて初めてのヴァイオリンを奏でる体験です。しかし、ユニークで楽しさをいっぱい詰めた指導方法に子どもたちの顔は次第に笑顔に変わっていききました。

また、「アピカ・ジュニア・ストリングス」のメンバーも最初から一緒に舞台に立ちました。そのことが初心者の気持ちにより安心感を与えてくれました。

このように初めてヴァイオリンを演奏する体験が、ヴァイオリンを習う入り口になるといいですね。

これからも子ども達が弦楽器体験を通して、音楽に親しみ、音楽への新たな魅力を発見する機会としてワークショップを継続していきます。



「サムホールコレクション1995-2014」展  
～10月12日(月・祝)  
市制10周年記念  
「映画とともに:山田洋次×横尾忠則」展  
10月25日(日)～2016年3月27日(日)

アトリエシリーズ

- ◎全国公募西脇市サムホール大賞  
1995-2014軌跡展  
VOL.3 9/15(火)～10/4(日)
- ◎南中・東中合同美術展  
10月6日(火)～10月12日(祝・月)
- ◎「アトリエ個展シリーズ(後期)」  
VOL.1 ●西明寺 末一展  
10月27日(火)～11月15日(日)  
VOL.2 ●加藤 寛美展  
11月17日(火)～12月6日(日)  
VOL.3 ●落 直子展  
12月8日(火)～12月27日(日)

※アトリエシリーズは入館無料  
※各会期の最終日は展示替えの為、午後3時まで。



山田監督、横尾氏

開館時間 午前10時～午後5時(入館午後4時30分まで)  
入館料 大人500円(400円)、シルバー400円(320円)  
高・大学生300円(240円)、小・中学生無料  
※( )内20名以上団体割引料金  
休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)・祝日の翌日・年末年始

<http://www.nishiwaki-cs.or.jp/okanoyama-museum/>  
ホームページにも掲載していますので是非ご覧ください。  
ブログ「美術館日記」もご訪問ください。

西脇市民会館  
TEL.0795-22-5715  
休館日 火曜日(祝日の場合は翌日)

西脇市制10周年・西脇市民会館開館50周年記念  
脚本家 倉本聰氏主宰の「富良野塾」(現 富良野GROUP)の卒業生で結成されたプロ集団が初の西脇市公演  
富良野塾OBユニット公演  
シコバラ 関西初公演!  
【シコバラ】は、仕込みとバラシの舞台です。  
富良野塾OBユニットの「見せ場」のひとつが、仕込みとバラシであり、これを見てもらわないのは、もったいない。彼らにしか出来ない仕込みとバラシのエンターテインメント。芝居しながら、仕込んでバラす。いや、仕込んでバラしながら、芝居する。  
まだ、誰もやったことのない斬新な演劇のカタチを提示する。子どもから大人まで楽しんでいただけたら嬉しい人間ドラマです。  
平成27年10月31日(土)午後6時30分開演  
(開場:午後6時)  
入場料: 指定席 3,500円(当日500円増)  
自由席 2,500円(当日500円増)  
好評発売中!  
チケット販売所: 指定席・自由席販売: 西脇市民会館、音楽ホール「アピカホール」  
自由席のみ販売: 西脇市総合市民センター、花屋敷、西村書店西脇店、キャロットハウス  
ベルデ・ヴェール、アヴォンリーハウス(中区)、ピンクハウス(加東市)  
会場: 西脇市民会館・大ホール TEL: 0795-22-5715(休館日: 火曜日)

音楽の  
話・輪・和・Wa

「蜘蛛の糸の  
バイオリン」

八馬 順子

「夕飯ですよ」  
との母の声をよそに、三編みの髪にリボンをつんでいた12歳の私は、庭の片隅にしゃがんだままでいた。

そこには、西日を受けて黄金色に光るレース模様の蜘蛛の網に毒を出しそうな大きな腹と、飛びかかってきそうな長い足をもつ蜘蛛がいた。

はち切れんばかりの編模様の腹に、何程の糸が詰まっているのだろうか、引っ張り続けると萎んでしまうのか?蜘蛛を酷い目に合わせてしまうとは

思ったが、私は好奇心を押さえ切れず、お尻から出る白い糸を傍らの板切れにクルクル巻きだした。力を入れスピードアップしても、一筋の糸にぶら下がった蜘蛛は尻を振り、長い足で体を回転させ離れ技を演じる振舞いで、私の挑戦など物ともしなかった。辺りは薄暗くなり蚊の羽音が聞こえ、私は夕食を告げられていたことを、ハッと想い出し、蜘蛛との対戦を諦めた。

そこから随分たち、今から数年前に奈良医大の特任教授が世界で初めて蜘蛛の糸で、バイオリンの弦を作製なされた。この弦は、一般的な弦よりも強く、柔らかく深みのある音の出ることが解明

され、プロのバイオリニストが演奏する機会でも絶賛された、と報道があった。蜘蛛がお尻から出す一筋の糸に端を発し、12歳の私の幼稚な発想と、教授のバイオリンの弦の制作とは、格段の差があるとはいえず、その日のことが一瞬にしてよみがえり、少し驚いた。

アピカホールは珍しく音響が良く、それを維持するために多くの方が運営し、携わられていると聞いている。いつの日か蜘蛛の糸で奏でるバイオリンと、地域の子供達が共演し、ホールに豊かな音色が響きわたるといいうのが、この夏の日の夢であった。

(西脇市西脇在住)

編集後記

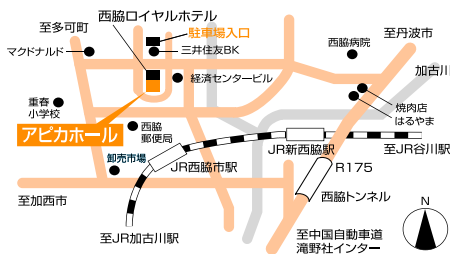
一押しコンサート!! プラハからやってくる。  
暑い季節も終わり、秋になりました。秋と言えば「○○の秋」皆さんはどんな秋でしょうか?  
やはり芸術の秋! 音楽ホールや美術館、図書館と楽しめる場所が西脇にはたくさんあります。  
アピカホールでは、この12月歴史と文化が溢れるチェコから、プラハ・バロック合奏団が登場します。バロック音楽の超有名曲が、次から次へと演奏されます。バロック時代の音楽なのでチェンバロが登場し、この機会に、ピアノとチェンバロの響きの違いを聴いて体感してください。美しいメロディに乗せて、ふわふわ羽がはえてくるかも?! (Green)

# アピカホール 催しガイド 10月～1月

休館日：毎週水曜日(祝日の場合翌日)

月/日(曜日)	催物内容	時間	入場料等	主催・問合せ	特集記事
10/12(月)	～市制10周年記念企画～ 第5回熱唱！カラオケ祭り ～スペシャルステージ～	10：00～	300円(お弁当なし) 1,500円(持ち帰り弁当 (お茶付))	西脇ロイヤルホテル ☎0795-23-7840	
10/22(木)	60周年記念詩吟発表会	13：30～(予定)	関係者	梅垣 昌司 ☎0795-22-5848	
10/25(日)	グリーンエコーズ30周年コンサート	14：00開演 (13：30開場)	無 料	吉田 佳江 ☎0795-32-1441	
10/31(土)	西脇市制10周年・西脇市民会館開館50周年記念 富良野塾OBユニット公演「シコバラ」	会場：西脇市民会館 18：30～	指定席3,500円 自由席2,500円 (当日500円増)	市民企画委員会「0」 西脇市民会館 ☎0795-22-5715	P11
11/30(月)	幼稚園お出かけコンサート	1部 10：00～ 2部 11：00～	関係者	アピカホール ☎0795-23-9000	
12/11(金)	第131回 しばざくらコンサート 「プラハ・バロック合奏団」 ～クリスマス名曲の贈り物～	19:00開演 (18:30開場)	一 般 3,500円 高校生以下 1,500円	アピカホール ☎0795-23-9000	P2・3
12/19(土)	第18回 「アピカ・アンサンブルコンサート」	時間：未定	無 料	アピカホール ☎0795-23-9000	
12/20(日)	「くすのき リトルピアノコンサート」	13：00～(予定)	関係者	楠 宮子 ☎0795-48-9332	
12/27(日)	「第21回 クリスマスコンサート」	12：30～	関係者	服部 文子 ☎0795-42-1530	

- ★主催者の都合により変更になる場合があります。内容についてのご質問は、各主催者までお問い合わせください。
- ★アピカホール主催の有料コンサートにご来場のお客様に限り、アピカ地下駐車場の3時間無料駐車サービス券をお渡しします。



## 交通アクセス

<バス>中国ハイウェイバス西脇営業所行き  
「西脇」下車すぐ。

三ノ宮～西脇線(神姫)「西脇」下車すぐ。

<鉄道>JR加古川線「西脇駅」より徒歩約20分。

<車>中国自動車道 滝野社ICより国道175号線を北へ約15分。

※アピカホール主催の有料公演のみ、アピカ地下  
駐車場3時間無料サービスの手続きをします。

- 編集：ポナンタゴン編集委員会
  - 発行：西脇市立音楽ホール「アピカホール」
- ポナンタゴン：こんにちは  
(エスペラント語)

〒677-0015 兵庫県西脇市西脇991  
TEL(0795)23-9000 FAX(0795)23-9031  
<http://www.nishiwaki-cs.or.jp/apikahall/>  
E-mail: apikahall@ever.ocn.ne.jp

このガイドは2015年9月1日現在の資料を元に編集しており、内容は変更される場合があります。無断での転載を禁じます。